

新緑の奥越高原牧場

ここ奥越高原牧場では、牛の昼夜放牧も例年より約1ヶ月遅れの5月16日から開始され、牛くんたちはのんびりと草を食べています。



また、春先の低温で牧草の生育は芳しくなかったのですが、ようやく一番草の収穫が6月3日から開始され、急ピッチでロールの生産作業を進めています。



6月5日（日）には、第5回目となる「わくわく牧場探検隊」を開催。10時から4時まで、子牛とのふれあいやチエソーアート、トラクターなどの大型作業機械の展示、四つ葉のクローバー探し、牛乳パック工作、オクちゃんによる模擬搾乳体験などを企画して楽しんでもらいました。



「高原で福井県産牛乳を飲もう！」という事で、日本酪農協同（KK）の協力により県産牛乳の試飲コーナーが設けられました。そのほか、エコ農業 PR には、奥越農林事務所の職員が、また、ペット犬の愛護 PR などで（社）ふくい動物愛護管理支援センター協会が参画してくださりイベントを盛り上げて頂きました。



当日、六呂師高原では「野外ドキュメント心灯2011」が開催され、こころび屋台村やマーケット、いろいろ体験コーナーなどがあり、こころびステージではライブが遅く（午後8時）まであり、大勢の人で賑わっていました。

